

転職先として思い切って飛び込む
當時を振り返る。
笹木さんは宮城県仙台市の出身。國立大学の理学部数学科に一
度は進学したもの、「身近に役立つものづくりに興味が湧いた」
として、2年生の時に工学部機械システム工学科に転部した。主席
で卒業し、大学内で一人だけ選ばれる日本機械学会の「畠山賞」を受賞した。置かれた場所でベストを尽くす性格は、この頃に一層磨かれたのかもしれない。

愛知県内の大手自動車部品メーカーに就職し、研究職として3年間、力不足を痛感しながらも充実した日々を送った。約300人の同期入社の仲間にも恵まれたが、2008年5月に発生した中国・四川大地震の映像を見たことが大きな転機となつた。「人間には、いつ、何が起こるかわからない。会社の規模に関係なく、成果が感じられる仕事がしたくなつた」と

2月に個人PRのサポート会社、i k u n o P R（本社大府市）を立ち上げたのが、社長の笹木郁乃さん（33）。国を挙げての副業推進や起業家予備軍の増加を受けて、「自分自身をPRする力が必要不可欠の時代になっている」と同社設立の狙いを語る。独立に至るまでには、大手企業の研究職から、ベンチャー企業の広報担当職まで、幅広い職業を経験した。自己実現とやりがいを追い求め、悩み、もがいた末につかんだ成果の一つひとつが、周囲を力づける現在の原動力となっている。

心に届くPR活動をサポート



「PRを武器に夢への翼を広げていただきたい」と話す笹木さん

顧客とともに、成長引き出す

笹木 郁乃さん

i k u n o P R 社長
(ささき・いくの)

なんのが、マットレスの新規事業を社内ベンチャーとして考えていた。買っていたいた人の名前を覚えるほどだった』という。

PRを任せられたが、当然、経験があつたものの、広報宣伝が弱かや人脈はない。メディアの電話番号を調べてアプローチし、マットレスをついて回る日々を送った。最初は及び腰だったが、「もともと人と話すのが好き。あ

り、ストーリー立ててメディアに改めてアプローチしあつた。すると雑誌などが製品と職人のこだわりを取り上げ、「半年待つ」という受注拡大につながった。『創業者の良いものづくりがある』とデータ再燃の要因を強調する。

笹木さんは、SNS（会員制交流サイト）などを使ってPRノウハウを発信してきた。反響の大きさや助言を求める声を受け、昨年2月に個人事業者として独立してこそ、PR効果が上がる」とデ

スマイル

♡大切な言葉♡

気持ちのある仕事

一つひとつの仕事の先には人の人生がある。そのかけがえのない人生を最高のものにするために、心から誠心誠意仕事をすることが喜びであり、私の幸せ。

全国で開講している「PR塾」では、多くの女性起業家が参加している



の企業は、5年後で売上上げが100億円規模になり、自覚ましい成長を遂げた。

1年間の育児休暇から復帰して、無水調理鍋「バーミキュラ」で知られる愛知県に転職。バリューラは発売当初の人気が一段落していた。そこで、製品の歴史、国産手作りのこだわりなどを掘り下げた資料を作り、ストーリー立ててメディアに改めてアプローチしあつた。すると雑誌などが製品と職人のこだわりを取り上げ、「半年待つ」という受注拡大につながった。『創業者の良いものづくりがある』とデータ再燃の要因を強調する。

笹木さんは、SNS（会員制交流サイト）などを使ってPRノウハウを発信してきた。反響の大きさや助言を求める声を受け、昨年2月に個人事業者として独立してこそ、PR効果が上がる」とデータ再燃の要因を強調する。

「PRの下請けではなく、一緒に作り上げて成長させることに支援やPR戦略の立案、発表会コメンテイメントなどを手掛けている。「PRの下請けではなく、一緒に作り上げて成長させることに興味がある」。クライアントの熱意に応え、常に全力投球でエンドユーザーの心に届くPRを開拓していく考えだ。